



Title	編集後記
Author(s)	池田, 貴子
Citation	科学技術コミュニケーション, 32, 41-41
Issue Date	2023-03
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/88811">http://hdl.handle.net/2115/88811</a>
Type	bulletin (other)
File Information	jjsc32_05_hensyukoki.pdf



[Instructions for use](#)

## 科学技術コミュニケーション 第32号 編集後記

JJSC32号が完成しました。本号は論文1報、ノート2報を採録しました。前号の11報(小特集含む)と比較すると採録本数としては控えめではありますが、コンスタントに幅広い分野からの投稿があり、科学技術コミュニケーションへの関心の高まりを感じている次第です。

若林里咲氏らによる論文「新型コロナから考える非常時の科学コミュニケーション ～日本科学未来館「わかんないよね新型コロナ」の事例から～」は、コロナ禍という有事において日本科学未来館がリスクコミュニケーションに成功した要因の分析を試みたものです。小林良彦氏らによるノート「インタビュー：科学技術コミュニケーションとして仕事をすることから考える科学技術コミュニケーションの役割」は、フリーランスの科学技術コミュニケーションへのインタビューをとおして、コミュニケーションに求められる資質や課題等について論じています。奥本素子氏らによるノート「科学技術コミュニケーションをつなぐポータルサイト SciBaco.net の開発と公開」では、科学技術コミュニケーションと社会をつなぐことを目的として公開されたポータルサイトの運用事例が紹介されています。

JJSCは、編集方針などを改善していくために、外部の識者からご意見をいただく、アドバイザー制度を導入しています。前号の31号からは、一方井祐子氏(金沢大学 人間社会研究域 人間科学系 准教授)と内村直之氏(科学ジャーナリスト)にアドバイザーを務めていただいています。ありがとうございます。

かねてより懸案事項であった「論文」「報告」「ノート」の種別の位置付けの不明瞭さについては、それぞれの違いを明確化するために前号より編集方針および査読基準を一部改正いたしました。特に「ノート」については、研究職に限らず幅広いバックグラウンドをお持ちの科学技術コミュニケーション実践者の方々にも、ユニークな取り組みについて共有していただけるようにと設けられた種別です。一般的な学術論

考のスタイルを越えて、ぜひご投稿ください。

JJSCは引き続き冊子印刷をいたしますが、長期的にはオンラインを中心としたジャーナルに移行していく予定です。

さいごに私事ですが、私自身の入院や体調不良の際に、奥本素子副編集長はじめ編集委員の皆様には大きなサポートをいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

JJSCは投稿を365日受け付けています。皆様のオリジナルな考察や実践が記された原稿をお待ちしています。

池田 貴子 (編集長)